

島ぬ美しゃ 海ぬ美しゃ ブルーアイランド共同宣言

沖縄県竹富町と長崎県対馬市は、イリオモテヤマネコとツシマヤマネコを自然の豊かさの象徴として相互交流し、生物及び文化の多様性の保全と持続的な発展に努めてまいりました。

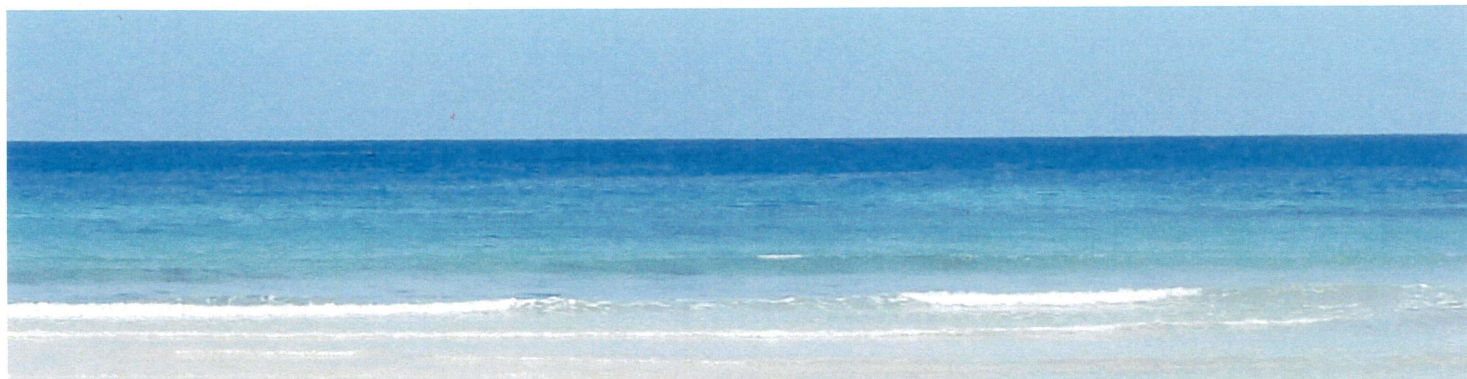
両島はともに美しく豊かな海で囲まれ、島人は海からの恵みを受け、その恵みに感謝しながら暮らし、その精神性が、それぞれ島特有の文化を育み、その文化によって育った島人が島の海、自然、文化を守ってきました。

今この海洋文化が危機に瀕しています。地球規模での環境問題が深刻化し、海洋プラスチック汚染、海藻や海草の消失、海面上昇等、両島共通の海の問題に直面しています。

目の前の島の海の美しさや豊かさを取り戻すため、海岸清掃、藻場再生、海洋教育等、島でできることは最大限努力していますが、外部不経済による影響が強く、根本的な解決のためには、島の自然が苦しむ声を、そして、島に生きる島人の海への想いを広く伝え、一人ひとりが未来に向けて行動し、地域、国同士が団結していくことが肝要です。

そこで、人類の未来の展望を世界に示す大阪・関西万博の中で、「海の蘇生」をテーマとする BLUE OCEAN DOME のこの場において、私たち両島は、次のことを宣言します。





①2016年の友好都市協定締結から10周年を迎えるにあたり、私たちは、海の分野での「連携と交流」をさらに強化します。

②島同士の連携と交流の強化により、2050年も島に誇りと高い幸福感を感じながら安心安全に暮らせ、持続可能なしまづくりのモデルとして、日本・世界の見本となる「世界最先端のサステナブル・アイランド」となることを目指します。

③2050年も島に住み続けられよう、島が努力すると同時に、島で生じている海の問題や保全の取組を国内外に広く伝え、地球規模での環境問題が島々に及ぼす影響の不公平な状況を是正する「正義」と大胆な行動変容を求め続けます。

2025年6月22日



長崎県対馬市長

比田勝尚喜



沖縄県竹富町長

前田正人

